



南阿蘇村立両併小学校

H30.6.22(金) No13
文責 校長 狭間卓史



ありがとうございます・・・両併の「人垣」

5月下旬から、本校低学年が学習の一環で地域探検をさせていただいています。

2年生は藤野正二さん宅、田尻元幸さん宅をそれぞれ訪問させていただき、農作物の育て方を中心に学ばせていただきました。

1年生は中郷天満宮の探検に出かけたのですが、その往復の道すがら、地域の方々（後藤守さん、大津ふさ代さん、大津昭一さんとそのお母様、本校保護者の大津耕太さん、鈴木幸子さん）に次々とお世話になりました。

それぞれに「子どもたちの声がしたから」、「姿が見えたから」ということでわざわざ出てきてくださり、あるいは運転中の車を止めて声をかけていただきました。本当にありがたいことです。学校に戻ってきた子どもたちも担任（岩切・甲斐）も笑顔一杯。どの子にとっても記憶に残る何よりの体験になりましたし、こういう体験ができるのもこの両併小校区ならではのことで。

熊本城のシンボルが武者返しの「石垣」であるとするならば、本校のシンボルは「人垣」だと私は思っています。「人垣で育て、人垣で（子どもの安全を）守る。」・・・私がやりたい学校づくりが、この両併小では皆さん（子どもたちや保護者さん、地域の方々、そして職員）のおかげで、自然と形になっていくことにただただ感謝しかありません。



【中郷天満宮にて】



【藤野さんご夫妻と2年生】



【田尻家と2年生】



【後藤守さんご夫妻と1年生】

ありがとうございます・・・貴重なご指摘

先日のこと、地域の方から一本のお電話をいただきました。用件は本校学習発表会の案内ポスターを撤去し忘れていたことについてのご指摘でした。ポスターは、本校が校区内に設置させていただいている「両併小あいさつ通り」の看板に掲示していたのですが、学習発表会は三月上旬に終わっておりますので、その後、三ヶ月間も掲示したままの状況でした。さっそく撤去させていただいたのはもちろんですが、その日の内に、職員に状況を伝え、日頃の様々な取り組みは最後まで確実にを行うことを全員で確認した次第です。

お電話では「私たちが外すのは簡単なことなのですが・・・。」とのお言葉もいただきました。本当にありがたいお電話です。何事もなく順調のようにみえる本校実践も、油断すれば積み上げてきたことが簡単に崩れ去ってしまいます。常に初心を忘れることなく取り組んでいくことの大切さに気づかせていただけた機会でした。今後とも本校へのご支援をあらためてお願いいたします。

